

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号  
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

## 未来見据え希望持ち歩む

【西 晃会長】  
新年あけましておめでとうございませう。

コロナ禍に振り回された昨年、後手後手の政府の無為無策により今なお厳しい状況です。

そのような中でも、昨年11月1日の大阪市廃止を問う住民投票での画期的勝利、今月22日に迫りました核兵器禁止条約の発効など、民主主義・立憲主義を支援推進する人々の声は着実に前進しています。沖縄辺野古のたかいかいも新たな展開を迎えようとしています。

平和という言葉の意味を今一度噛みしめ、未来を見据え希望をもって歩む決意を新たにしています。今年一年が大阪平和委員会の皆様にとって実り多い年になりますように祈念申し上げます。

### 【近藤正・理事長】

核のない世界に夢を馳せる 正  
昨年は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。

大阪平和委員会はそれぞれに知恵を出し合い励まし合って活動を続けたことが実をむすんで、組織面でも前進することが出来ました。

ズーム会議など新たな手法を取り入れ交流し得たことも特筆すべき経験でした。困難にめげず新たな高みへ挑みましょう！  
今年1月に核兵器禁止条約が発効します。世界平和への草の根が生んだ歴史的な一歩です。

### 【中村玉枝副理事長】

昨年は、2月に西谷文和さんの「中東情勢報告」で幕開けして以降はコロナ感染で学習会もできず、12月総会での西谷文和さんの「コロナ後の世界」と題する講演会で締めました。穂久会長が「コロナ感染も大変だが、核兵器禁止条約の発効、住民投票の勝利、アメリカでのトランプ氏の敗北など、草の根の小さな声が大きな流れになっている！」と。2021年は、更に地域の平和への思いに傾聴して、輪を広げる平和委員会でありたいと思います。

「本年もよろしく願いいたします。役員一同」

- 会長 西 晃
- 副会長 岩田幸雄・寺戸月美
- 片方真佐子
- 副理事長 鈴木久・玉置敏次
- 中村玉枝
- 事務局長 上羽治雄
- 次長 吉田一江・亀井明子

## 許すな！任命拒否

12月20日大阪平和委員会を会場にして日本学術会議任命拒否問題についての学習会がオンライン形式で70人以上の参加で実施されました。

最初に富田宏治・関西学院大学教授が「今日これから学習する学術会議任命拒否問題など『アベのままスガ』首相が説明責任を果たせないことを繰り返している」と開会挨拶。次に、

返している」と開会挨拶。次に、任命拒否された6人の学者のひとりの小沢隆一・東京慈恵会医科大学教授が「首相は『民間出身者や若手が少ない』などと言ったが、この間の学術会議の努力で是正されてきた。推薦された会員候補の任命を首相がこうした理由で拒否できる法的根拠は学術会議法のどこにもない。菅政権の強権支配による平和と憲法破壊と正面からたたかひぬぐ」と決意表明。続いて日本科学者会議事務局長の井原聰さんが「日本学術会議任命拒否の狙い」と問題点―軍事研究との関わりについて―と題し、1時間以上について70頁以上のレジュメを用いて講演を行い、任命拒否問題は次の1.〜7.に該当するので正常化するのが第一の課題と強調しました。

1. 憲法違反・学術会議法違反
2. 倫理性の欠如、理由を示さず拒否、パワハラの極致
3. 恫喝的政治手法
4. 学術・文化の無理解(政治活動の道具としてしか見ない)
5. 憲法第19条思想及び良心の自由、憲法第21条表現の自由を侵害、学術の多様性の保証の損壊
6. 学術会議を政府の意向に沿うよう変質を目論み
7. 安倍政権―官僚統制、法律を変えて検察人事に介入。菅政権―違法な人事介入ファシズム的手法・傲慢な時代錯誤。

最後に西晃会長が、「今日の井原さんの講演で学術会議の新会員候補の任命拒否問題の本質が



よく理解できた。法曹界に属するものとしてもこの問題は許せない」と閉会挨拶をしました。

視聴会終了後、立命館大学に通う大阪平和委員会青年協の役員が参加者の皆さんに挨拶をしました。

## 沖縄連帯行動

大阪平和委員会は天王寺平和委員会とともに、1月15日正午から近鉄上本町駅前まで沖縄連帯行動を11人参加で実施。

うたごえ協議会の仲間4人も「沖縄を返せ」を歌い市民にアピールしてくれました。

### 緊急事態宣言発令中というこ

とも考慮し、「3密」を避けるため「辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求め」と「日米地位協定の改正を求め」二つの署名用紙と消毒液をテーブルの上に置いて署名してもらおう工夫をした結果、17筆(二つとも)の署名とカンパ1110円が寄せられました。

上羽事務局長とうたごえ協議会の立川孝信さんが「菅政権は沖縄戦の犠牲者の遺骨が眠る縄本島南部から土砂を掘り出し辺野古の埋め立てに使うとして



いる。県民の心を踏みにじる基地建設はやめるべきだ」「菅政権は史上最大の5・5兆円超の来年度予算を軍拡につきこもうとされている。軍拡はやめコロナ対策と暮らしへ回させよう」と力強く訴えました。

### 【2月の行事案内】

- 3日(水) 大阪安保幹事会 10:00/常任理事会 18:00
- 6日(土) 「敵地攻撃能力」と大軍拡に反対するオンライン学習会  
14:00~16:00 千坂純日本平和委員会事務局長講演
- 7日(日) 浦添市長選投票開票
- 9日(火) 大阪原水協6・9行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 11日(木) 「建国記念日」不承認 大阪府民のつどい 13:00 高津ガーデン  
岡田知弘氏講演「大阪市廃止を止めた力で大阪の再生を」
- 15日(月) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 22日(月) 大阪安保23行動 12:00 淀屋橋
- 27日(土) 天王寺総会 13:30~14:10 大阪市立社会福祉センター  
オカリナ演奏と「敵地攻撃能力って何」上羽事務局長講演
- 28日(日) ビキニデーオンライン集会 10:00~(〜3/1)



### 許すな馬毛島軍事基化

米空母艦載機離着陸訓練の移転先として政府が進める、鹿児島県西之表市(種子島)の馬毛島を米軍・自衛隊の軍事基地にする動きが激化。これに反対する八坂俊輔市長と市議の再選をかけた市長・市議選(1月31日投票)が迫るなか馬毛島軍事基地化反対オンライン集会在30府県150人以上の参加で開催され大成功しました。

司会は千坂純日本平和委員会事務局長。映画「馬毛島」の上映、三宅公人・市民団体連絡会会長と種子島平和委員会の訴え長崎平和委員会の富塚明さんの「日米軍事同盟強化の中での馬毛島問題について」のミニ講義全国各地からの連帯発言という盛沢山の内容でした。

関西を代表して上羽事務局長が以下のように発言し、現地の皆さんを大いに励ました。  
—大阪では昨年11月1日大阪市廃止の是非を問う「住民投票」が行われ、62・35%という高い投票率のなか、「賛成」49・3%、「反対」50・63%の差1・26%(約1万7000票)の僅差で勝利しました。2015年に続いて2連勝とな



り、130年以上の歴史をもつ大阪市の存続を勝ち取りました。テレビなどでは大阪市廃止を意味する「大阪都構想」に賛成する芸能人や評論家が動員され圧倒的な宣伝をする中、反対派の我々は対話や街頭宣伝による地道な取り組みを展開する以外に反対票を広げる手段はありませんでした。

大阪平和委員会では、大阪市の傍聴を続けてきたジャーナリストを招き「住民投票」前に学習会を開き理論武装を行いました。そして、他の平和友好団体とともに街角で「大阪都構想」反対のプラカードを持ち、「大阪市を守りましょう」と呼びかけるスタンディングを続けました。投票日にも天王寺区などの投票所前でスタンディングを行いました。

馬毛島の軍事基地化は、北朝鮮や中国を刺激し、両国にさらなる軍備増強の口実を与えてしまい、北東アジアの平和を妨げることになります。  
大阪平和委員会としても、馬毛島の軍事基地化反対署名を300筆、募金を1万円集めて届けましたが、さらに署名・カンパを増やすとともに、市長・市議選勝利にむけ電話作戦でも協力したいと考えています。

### 1月理事会盛会

大阪平和委員会は1月6日夜第2回理事会を開催しました。

普段と変わらない21人という多数の出席者は全員体温の測定という関所を通過してから入室し会議にのぞきました。いつもなら18時〜20時までの2時間をさくところですが、議長近藤理事長はコロナ禍を考慮に入れ、1時半と会議短縮を図りながらも出席者に全員発言してもらおう措置をこうじました。

西晃会長が開会と閉会の挨拶(写真)。会長は1月22日に核兵器禁止条約の発効を迎えるという新しい世界を目の前にしている一方、コロナ感染が猛威をふるい、被爆者訴訟裁判の日程にも大きく影響し始めているとコロナ禍への注意を喚起しました。

発言で注目されたのは、以下のようなものでした。  
◎高槻島本平和委員会―寝屋川市から被爆者を招いて学習会を開催したが、司会を高校生にしてもらった。会員もひとり増。  
◎都島平和委員会―大阪安保役員の植田保二(高槻平和委員会会員)さんを招いて「敵基地攻撃能力って何」の学習会を実施する。16歳のとき、広島で被爆した岩佐幹三(みきそう)さん



(享年91歳)の体験に基づく紙芝居をとりよせ実演したい。  
\*事務局のほうで早速この紙芝居を注文しましたが、今注文が殺到しており、すぐには届けられないとのことでした。

◎旭区平和委員会―年末会員260名達成にこだわり2人1組で家庭訪問し、会員拡大をはかった。  
◎天王寺平和委員会―天王寺平和委員会設立のきっかけとなった「大阪城平和ウォーク」に年明けに出かけた。

◎八尾平和委員会―1月22日は2時に近鉄八尾駅に集まり手製のゼッケンやプラカードをもちより宣伝予定。

### 日平常任理事会で活躍

1月17日本平和委員会のオンライン第2回常任理事会が20名の出席で開かれ、大阪からは上羽事務局長と岩本悟青年協副議長が出席。

この会議の目的は、1月30日に開かれる第1回理事会に向けた議案提案とその検討。

最初に千坂事務局長が方針案の提案。その中で千坂事務局長は「大阪では昨年11月1日に実施された『住民投票』で大阪市廃止を僅差で止めることに成功した。この住民投票では10以上ある大阪市内の基礎組織が大奮闘し、地域平和委員会の真骨頂がしめされた」と報告しました。  
次に岩月事務局次長から財政報告がありました。

### 「コロナ禍の中お薦めの図書」

「砂戦争」知られざる資源争奪戦 石弘之著 角川新書

環境NGO「グローバル・フットプリント・ネットワーク」は地球オーバーシュート・デー(地球の能力を超えた日)を毎年発表している。森林、水産物、水資源など、1年間で地球が資源を再生できる能力をあらかじめ計算し、人類の資源消費量がこの目標を突破する日だ。つまり、私たちが1年間で生活するうち、この日を境に将来世代の分を「先食い」して自然資源を消費していることを意味する。

世界では1990年には10月11日だったのが、2020年には8月22日に早まった。つまり、この日以降の2020年の残された日々を人類は「原資」に手をつけながら、「赤字」の生活をするようになる。



紙誌代値上げのお知らせ  
4月より月400円の平和新聞代と250円の平和運動代がそれぞれ70円と50円値上げされます。引き続きご愛読をお願いします。

続く討論の中では、上羽事務局長は「コロナ禍の中、遠くへ移動できなくなり、地元で活動することが求められ、地域平和委員会の存在価値が高まっている。大阪には大阪市内だけでなく府内各地に基礎組織がある。コロナ禍のなか、会員一人ひとりとつながるためさまざまな創意工夫(家庭訪問など)をこらして活動している」と大阪の奮闘を報告しました。